



辻井伸行 音楽と絵画コンサート《印象派》

『辻井伸行 音楽と絵画コンサート《印象派》』は、辻井伸行が得意とするドビュッシー、サティ、ラヴェルなどの名曲演奏に合わせて、ルノワール、モネなどの印象派を代表する画家の著名作品をはじめ、印象派の音楽や画家たちに大きな影響を与えたといわれている葛飾北斎の浮世絵、そして、クリムト、ミュシャ、ロートレックなど、19世紀末から20世紀初頭に活躍した画家たちの名作が、ステージ上の大スクリーンに高画質で投影される、魅力あふれるコンサートです。

辻井伸行 (ピアノ) ————— Nobuyuki Tsujii, piano
 2009年「第13回ヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクール」において日本人として初優勝を飾る。以来、世界的なピアニストのひとりとして活躍し、ニューヨークのカーネギーホールの主催公演やイギリス最大の音楽祭「プロムス」などに出演し大成功を収めるほか、ウィーン楽友協会やベルリン・フィルハーモニー、パリのシャンゼリゼ劇場などの世界の著名なホールで例年コンサートを開催し高い評価と多くの聴衆の支持を得ている。また、欧米の一流オーケストラからソリストとしての出演希望を数多く寄せられ、ゲルギエフやアッシュケナージなどの世界的指揮者からも高い評価を受け、これまでに数多くの共演を行っている。2024年に名門ドイツ・グラモフォンと日本人ピアニストとして初の専属契約を締結。今後の世界的活躍がもっとも期待されているピアニストのひとりである。

〈第1部〉ドビュッシー

ドビュッシー:

2つのアラベスク …… ルノワール/ドガ
 ベルガマスク組曲 …… ルノワール/スーラ/クレール/ゴッホ
 [前奏曲 / メヌエット / 月の光 / パスピエ]

映像 第1集 …… 葛飾北斎/歌川広重
 [水の反映 / ラモーを讃えて / 運動]

〈第2部〉サティ&ラヴェル

サティ:

3つのジムノペディ …… クリムト/ミュシャ/ロートレック

ラヴェル:

亡き王女のためのパヴァーヌ …… モネ
 水の戯れ …… モネ
 ソナチネ …… モネ
 [I Modéré / II Mouvement de menuet / III Animé]

※演出の都合上、変更になる場合がございます。

